

水道局だより

私たちの暮らしの中の水道 vol.2

平成30年11月1日発行
平成30年 第4号
水道局

☎237-5811 FAX 237-5819

身近にある水道について知っていただくために、水道事業の現状・課題・経営状況をシリーズでお伝えしています。第1回目(広報津8月16日号折り込み紙)では、水の大切さや水道水が私たちの家に届くまでの流れ、いつでも安心して水が飲める仕組みについてお伝えしました。今回は、水道施設の地震対策について耐震化の現状や課題、決算の状況などを見ていきます。

耐震化は、このままで大丈夫？

 全国各地で発生している地震被害や風水害を受けたとき、最も困ることの一つとして水道が使えないことがあると思うけど、津市の水道って地震に強くできているのかな？

 平成29年度末時点、津市の水道施設の耐震化率は、下のとおりだよ。

- 基幹管路 20.1%(約39%)
- 浄水場 28.4%(約28%)
- 配水池 28%(約53%)

※かつこ内は、平成28年度末の全国平均

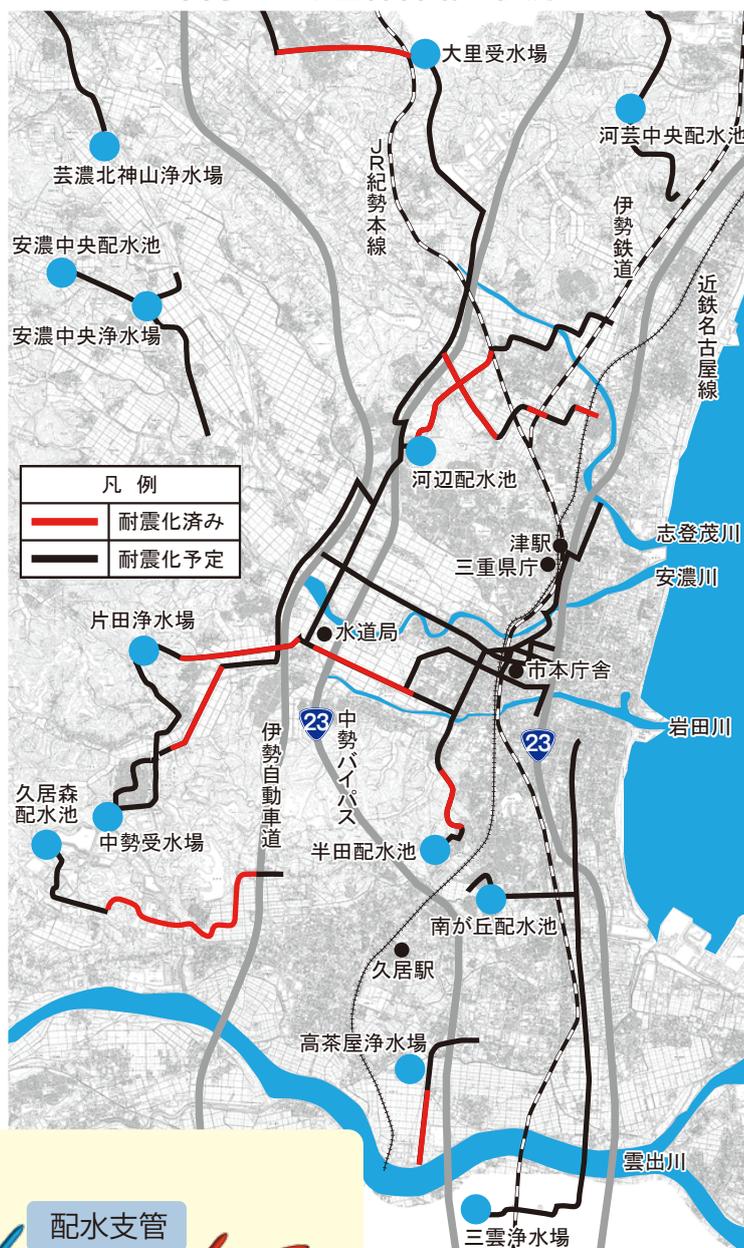
 まだこれだけしか耐震化されていないんだ！このままで大丈夫なのかなあ？

 県内の市の中でもこれまで比較的安い水道料金でやりくりして、その中で耐震化を進めてきたから、耐震化率が低いんだ。

 でも、このままじゃ大きな地震が起これたら心配だね。

 そうだね。だから、今まで以上に耐震化を進める計画を立てたんだよ。でも、耐震化にはたくさんのお金や時間がかかるから、その分経営がますます厳しくなるんだ。

市内の主な基幹管路の状況



基幹管路は重要！

基幹管路は人間の体に例えると太い血管の役割を果たし、基幹管路が壊れると、その先の広い範囲が断水してしまう重要な管路です。

